



静岡県スポーツ・文化観光部



スポーツ・文化観光部の概要

スポーツ・文化観光部

総務課
企画経理課

スポーツ政策課
スポーツ振興課

文化政策課
文化財課
富士山世界遺産課

- ・ 県立美術館
- ・ ふじのくに地球環境史
ミュージアム
- ・ 富士山世界遺産センター
- ・ 埋蔵文化財センター

観光政策課
観光振興課

空港管理課
空港振興課

スポーツ・文化観光部の概要

●本庁組織の主な取組

総務課 企画経理課	部の総務、予算、総合計画の策定、企画広報、東静岡駅周辺のにぎわい創出 等
スポーツ政策課 スポーツ振興課	スポーツ推進、スポーツの産業化、生涯スポーツ・パラスポーツの振興、アスリート支援・強化、スポーツイベントの誘致 等
文化政策課 文化財課 富士山世界遺産課	地域の文化力の磨き上げ、県内文化資源の活用促進、文化観光の推進、文化財の保存と継承、富士山等世界遺産の価値継承、富士山の入山管理・整備等 等
観光政策課 観光振興課	観光ブランドの形成、インバウンド等誘客強化、観光産業の基盤強化、「食」を中心とした誘客推進、県内観光地基盤強化 等
空港管理課 空港振興課	富士山静岡空港の管理、路線の強化・拡大、利用促進、受入体制の強化、地元との連携、環境保全対策 等

スポーツ・文化観光部の概要

● 出先機関の主な取組

県立美術館	(静岡市駿河区) 企画展示等イベントの運営、広報、総務、予算、施設の維持管理 等
ふじのくに 地球環境史 ミュージアム	(静岡市駿河区) イベント・講演会の企画運営、広報、総務、予算、施設の維持管理 等
富士山世界遺産 センター	(富士宮市) 富士山の調査研究、教育普及（講座・セミナー）の推進、企画展等イベントの運営、広報、総務、予算、施設の維持管理 等
埋蔵文化財 センター	(静岡市清水区) 文化財の調査・保護、研究機関との連携、イベントの運営、広報、総務、予算、施設の維持管理 等

※取組内容は変わる可能性があります。

スポーツ・文化観光部の概要

●構成人員（6月1日時点）

本庁	11課	185人
出先機関	4機関	66人
合計		251人

●派遣先例

駿河湾フェリー、文化財団、SPAC、観光協会、DMO
国、市町 等

スポーツ・文化観光部の概要

●令和7年度予算の特徴（主要事業）

Ⅲ 分野別の取組①（産業・交流）



海外誘客の強化

観光関連事業

[P. 46]

新規

上質な体験の提供による観光誘客

- ・スタートアップと連携したインバウンド向け高付加価値旅行商品の開発
- ・ナイトタイムコンテンツ商品の開発



新規

- ・高齢者・障害のある人が旅行しやすい環境整備
- ・観光施設のバリアフリー化



新規

- ・高級ホテルの誘致活動の推進

事業費

23億6,600万円

空港振興関連事業

[P. 49]

- 富士山静岡空港の就航・利用促進
- ・東アジア、東南アジアとの新規就航に向けた取組を強化

香港線新規就航(R6.12~)



事業費

32億3,300万円

Ⅲ 分野別の取組②（教育・文化）



文化・芸術の振興

富士山の保全と安全登山の強化

[P. 102]

新規

富士登山における安全対策

- ・条例による登山規制、入山料の徴収(4,000円/人)
- ・規制箇所：3登山口、4か所(24時間体制)

新規

富士宮口五合目来訪者施設整備

- ・コンストラクション・マネジメントの導入による事業推進
- ・R7~8：事業者選定契約



事業費

5億1,800万円

新規

東部・伊豆地域文化ネットワークの推進

[P. 100]

- 「富士山・駿河湾・伊豆文化ゾーン(仮称)」の構築
- ・官民連携による文化ネットワークの形成
- ・旧ヴァンジ彫刻庭園美術館の活用

事業費

5,400万円

地域で花開く数々の事業

県全域で展開

▲ガストロノミーツーリズム

▲国際交流事業



▲アーツカウンシル



富士山の保全強化



一本、自分に芯を通す旅を！
武道ツーリズム



ヴァンジ跡地活用



Photo by Yuuri Tanimoto
ラグビー5周年 日本代表戦



世界へ魅力発信 (SPAC、静響)



くふうハヤデベンチャーズ静岡



デフリンピック
(R7)



スポーツ医科学



浜名湖花博 (SPAC公演)



プロスポーツとのマッチング



黄金KAIDO



日本平周辺施設の連携強化



国際ピアノコンクール
(浜松市)



富士山静岡空港15周年



伊豆文学祭